

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月 2日

前橋市長 小川 晶 殿

提出者 〒379-2154
住所 群馬県前橋市天川大島町1340番地4
氏名 三山アドコス生コン株式会社
[Redacted]
電話番号027-289-2182

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三山アドコス生コン株式会社 富士見工場
事業場の所在地	群馬県前橋市富士見町小暮1588番地15
計画期間	令和 7年 4月 1日～令和 8年 3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	E21 窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	2024年度実績 生産量(生コンクリート) 16,000m ³
③ 従業員数	8名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre>graph LR subgraph Production [生産工程] A[生コン製造] --> B[運搬] --> C[荷卸し] --> D[戻りコン発生] --> E[コンクリートくず] F[回送] --> D end subgraph Water [水処理工程] G[プラント洗浄] --> H[スラッジ水槽] --> I[脱水] --> J[コンクリートくず] K[ミキサ車洗浄] --> H L[練り混ぜ水] --> I end</pre>



(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

<p>(管理体制図)</p> <p>事業場</p> <pre>graph TD A[工場長] --- B[運営会議] A --- C[製造課・試験課]</pre>	<p>【産業廃棄物処理責任者】 所属：富士見工場 工場長</p> <p>【産業廃棄物担当者】 所属：富士見工場 製造課</p> <p>【工場運営会議の役割】</p> <ul style="list-style-type: none">・産業廃棄物処理に関する検討。産業廃棄物の発生、再利用方法の検討。適正処理の監視等、運営上必要な事項を検討する。 <p>【産業廃棄物処理責任者の役割】</p> <ul style="list-style-type: none">・産業廃棄物処理の作成・産業廃棄物処理状況の把握と改善策の検討・産業廃棄物処理に関する各種事項の決定・監督官庁への各種報告・社員に対する教育 ・その他関係する事項 <p>【産業廃棄物担当者】</p> <ul style="list-style-type: none">・産業廃棄物管理票の交付 ・産業廃棄物の管理
---	---

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	排出量	1,544 t
	(これまでに実施した取組) ・発生要因の調査（納入した生コンクリートが不要になり工場へ持ち帰りとなった）もの。	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	排出量	1,300 t
	(今後実施する予定の取組) ・購入者への残コン発生の抑制を強くお願いしていく。	

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
① 現状	【前年度（ 令和 6年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
	全処理委託量	1,544 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,544 t
	再生利用業者への処理委託量	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t
	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物収集・運搬及び処分委託契約を優良認定事業者と締結。	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	
	全処理委託量	1,300 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,300 t	t
	再生利用業者への処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物の適正処理。 購入者に対して過剰発注の抑制等の呼びかけ。		
※事務処理欄			